

人も地球も健康に

Yakult

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 09 特集「世界で愛飲されるヤクルト」
- 11 ヤクルトのネットワーク
- 13 商品紹介
- 19 コラム「乳酸菌研究から生まれたヤクルトの化粧品」
- 21 会社情報

グローバル展開50年



株式会社ヤクルト本社

第62期 **株主通信**

平成25年4月1日～平成26年3月31日

ごあいさつ



代表取締役会長 (CEO)

堀 澄也



代表取締役社長 (COO)

根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外景気の下振れの影響が懸念されたものの、政府の経済政策や金融政策の効果による円安や株高などを背景に、企業収益・雇用情勢が改善し、個人消費も持ち直すなど、景気回復基調のもとで推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は350,322百万円(前期比9.8%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は32,026百万円(前期比38.8%増)、経常利益は39,535百万円(前期比34.4%増)、当期純利益は22,543百万円(前期比37.6%増)となりました。

連結業績 ハイライト

●売上高

(億円)

4,000

3,000

2,000

1,000

0

2,906

3,059

3,125

3,191

3,503

58期
2009年度

59期
2010年度

60期
2011年度

61期
2012年度

62期
2013年度

次期について

日本国内における乳製品については、引き続き宅配および店頭の内チャネルで、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」を中心に、「価値普及」活動の強化と再徹底を図ります。

海外においては、32の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っています。

既存事業所については、さらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。また、ベトナム、インド、中国および米国などの新規事業所については、経営基盤の強化と事業の成長を推進していきます。

医薬品に関しては、がん化学療法剤「エルプラット」の進行・再発大腸がんに対する適正使用や術後補助化学療法の

啓発を促し、市場拡大を図るとともに、がん化学療法剤「カンプト」の市場シェア維持や、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタビンヤクルト」の販路拡大を図るなど、がん領域に特化した販売活動に注力していきます。

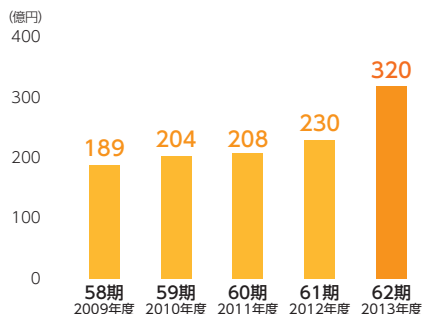
配当について

当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

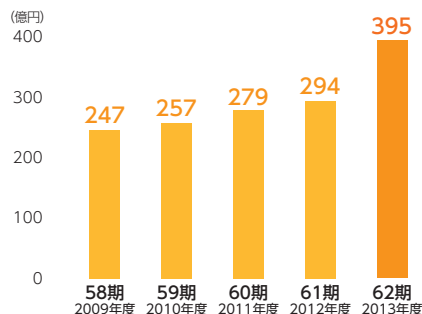
平成26年3月期の年間配当金額は、前期に比べて1株当たり1円増配の年額24円としました。すでに中間配当金12円を実施していますので、平成26年3月期末の配当金については12円となります。また、次期の配当については、上記方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、当期に比べて1株につき1円増配の年額25円を予定しています。

| | 当期 | 次期の見通し |
|-------|----------------------------|-----------------|
| 売上高 | 3,503 億円(前期比 9.8%増) | 3,660 億円 |
| 営業利益 | 320 億円(前期比 38.8%増) | 330 億円 |
| 経常利益 | 395 億円(前期比 34.4%増) | 410 億円 |
| 当期純利益 | 225 億円(前期比 37.6%増) | 235 億円 |

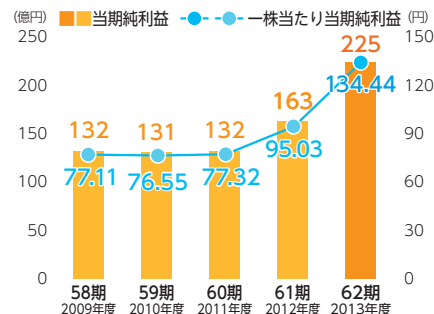
● 営業利益



● 経常利益



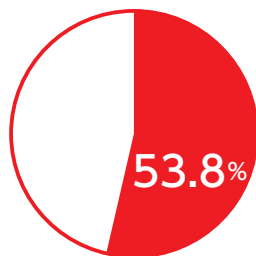
● 当期純利益／一株当たり当期純利益



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

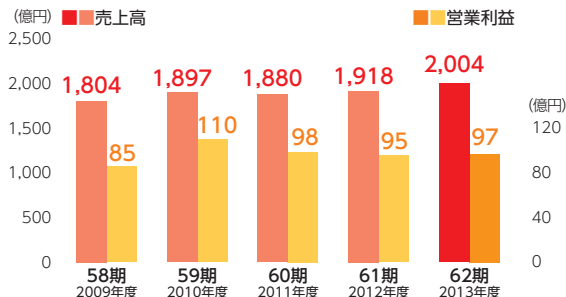
2,004 億円

(前期比：4.5% ▲)

営業利益

97 億円

(前期比：2.5% ▲)



59期より全社費用の一部を当部門に振り替えています。

乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」を中心に、「価値普及」活動を展開しました。また、当社の基幹商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」および「ヤクルトカロリーーフ」に含まれる「乳酸菌 シロタ株」の菌数を増やし、商品価値をさらに向上させた「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」を発売しました。

宅配チャンネルでは、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動の推進に加え、新機能性飲料「乳酸菌ソイα(アルファ)」を地域限定で発売し、新たな健康価値の訴求にも取り組みました。

店頭チャンネルでは、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、のむヨーグルト「ジョア」について、「ジョア ピーチ」などの期間限定アイテムを発売しました。また、ハードタイプヨーグルト「ソフル」についても、年間を通してヨーグルトカテゴリーのブランド活性化と売り上げの増大を図りました。

ジュース・清涼飲料については、「タフマン」および「蕃爽麗茶」をリニューアルするとともに、「ミルージュ」の期間限定アイテムを発売しました。また「黒酢ドリンク」に当社のガラクトオリゴ糖を配合し、特定保健用食品の表示許可を取得してリニューアルするなど、主カブランドの活性化を図りました。

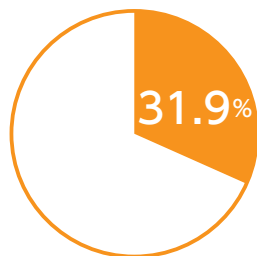
2014
NEWS &
TOPICS

» 「ヤクルト ゴールド」を新発売

60代以上のシニア層に向けた高付加価値タイプの乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト ゴールド」を2014年6月2日より新発売しました。乳酸菌 シロタ株が1本に200億個含まれているほか、シニア層に摂取意向の高いグルコサミン、ローヤルゼリー、カルシウム、ビタミンC、ビタミンDが含まれています。ゴールドを基調に高級感や高品質感が感じられるパッケージが目印です。



飲料および食品製造販売事業部門（海外）

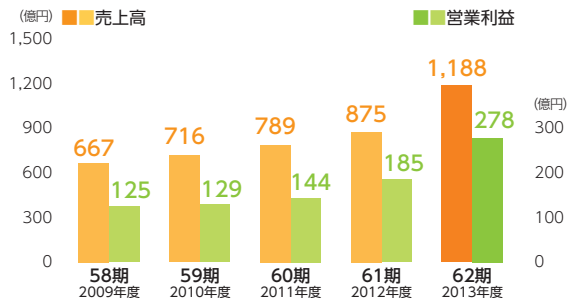


売上高構成比

当期

売上高
1,188 億円
(前期比: 35.8% ▲)

営業利益
278 億円
(前期比: 50.3% ▲)



米州地域

売上高 **492** 億円 (前期比: 26.9% ▲)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、米国などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

メキシコでは、消費者の健康意識や食品の機能性への関心と期待の高まりに応えるため、「ソファール」全4品をカロリー低減タイプの「ソファールLT」に変更しました。

ブラジルでは、健康意識の向上と、それに伴う低カロリー製品のニーズに応えるため、カロリーを低減した「ソファールライト」の販売を開始しました。

アジア・オセアニア地域

売上高 **609** 億円 (前期比: 47.8% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

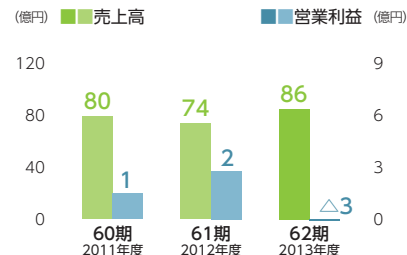
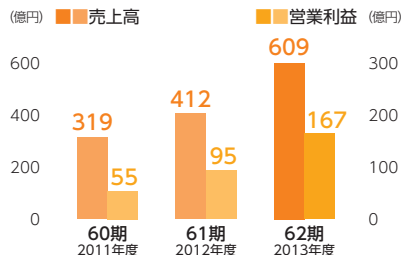
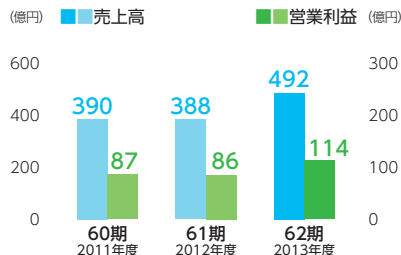
中国では、「ヤクルト」の販売本数増加に伴い、天津ヤクルト株式会社(天津工場)の生産能力を強化したほか、同社敷地内に第2工場棟を建設しております。また、広州ヤクルト株式会社において、本年3月に第2工場での生産を開始しました。

ヨーロッパ地域

売上高 **86** 億円 (前期比: 15.5% ▲)

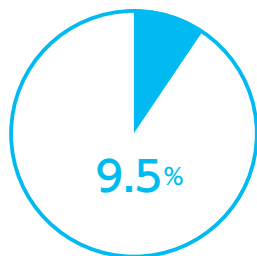
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

同地域では、昨年マルタとスイスの店頭チャネルで、それぞれ「ヤクルト」の販売を開始しました。また、昨年9月にドイツとオーストリア、本年3月にオランダで、高付加価値タイプの「ヤクルトプラス」の販売を開始しました。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

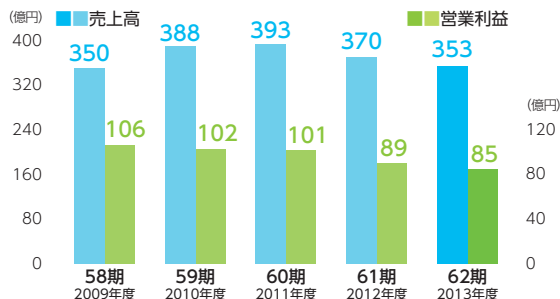
353 億円

(前期比：4.7% ↓)

営業利益

85 億円

(前期比：4.8% ↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の進行・再発大腸がんに対する標準療法のさらなる浸透や、FOLFOXレジメンおよびXELOXレジメンによる術後補助化学療法（手術後の再発防止のための化学療法）の啓発を図るため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、がん化学療法剤「カンプト」「エルプラット」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」を用いたFOLFIRINOX療法の膵がんへの適応拡大が承認されたことから、適正使用を推奨する活動を推進したほか、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタビンヤクルト」、遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」および薬価収載された抗悪性腫瘍剤

の後発品である「イマチニブヤクルト」のシェアおよび販路拡大に努め、がん領域に特化した販売活動に注力し、売り上げの増大を図りました。

研究開発では、「エルプラット」の胃がんへの効能追加に係る承認の取得に向けた準備を進めています。また、パイプライン開発の推進や、UMNファーマ社およびアピ社との共同による抗体バイオ後続品の開発にも取り組みました。さらに、悪性腫瘍骨転移による骨病変治療薬の後発品である「ゾレドロン酸点滴静注」の製造販売承認を取得し、発売へ向けた準備を進めていることから、今後、がん領域でのさらなる強固な地位の確立を目指します。

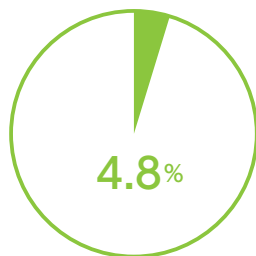
2014
NEWS &
TOPICS

▶▶ 期間限定アイテム「ジョア ピーチ」が再登場

「ジョア」のCMタレントである 剛力彩芽さんと共同開発した「ジョア ピーチ」を2014年6月2日から8月下旬までの期間限定で発売しました。昨年販売した「ジョア ピーチ」は、ジョアの期間限定アイテムの中で過去最高の販売数量(258千本/日)を達成。「また飲みたい」との声にお応えし今年も再登場しました。昨年より果汁量を増やしたことで、さらにおいしく仕上がりました。



その他事業部門



売上高構成比

当期

売上高

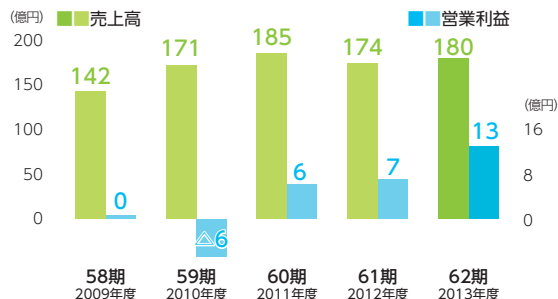
180 億円

(前期比：3.5% ▲)

営業利益

13 億円

(前期比：87.6% ▲)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシ」および「リベシホワイト」を中心としたカウンター型訪問販売活動によるお客さまへの「価値普及」活動を継続して展開しました。

これまでの「パラビオ」シリーズに加え、「リベシ」および「リベシホワイト」シリーズからも、手軽に1週間体感できるセツ

トをそれぞれ発売するとともに、四半期ごとに重点商品とテーマを設定した営業施策により、お客さまづくりに取り組みました。また、お肌にハリ・弾力を与える美容液「ビスイクル リフトリペア エッセンス」を発売し、売り上げの増大を図りました。

一方、プロ野球興行については神宮球場において各種イベントやファンサービスなどの観客動員策を積極的に展開した結果、入場者数が増加しました。

「ミルージュ」シリーズをリニューアル 特保取得&新アイテムも発売

「ヤクルトの乳性飲料ミルージュ」シリーズを5月26日にリニューアル発売したのに加え、チルドカップ容器の新アイテム「フルーツミルージュ トロピカルミックス」を新発売しました。また、「ミルージュ」「ミルージュ280」「ミルージュ200」「ホワイト ミルージュ」の4品については、ガラクトオリゴ糖により「おなかの調子を整える」特定保健用食品の表示許可を新たに取得しました。



Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：億円

| 科目 | 第61期 | 第62期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 平成25年3月31日現在 | 平成26年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 1,851 | 2,112 |
| 固定資産 | 2,530 | 3,082 |
| 有形固定資産 | 1,506 | 1,842 |
| 無形固定資産 | 63 | 60 |
| 投資その他の資産 | 961 | 1,179 |
| 資産合計 | 4,381 | 5,195 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 1,212 | 1,089 |
| 固定負債 | 298 | 1,026 |
| 負債合計 | 1,510 | 2,115 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 2,880 | 2,737 |
| 資本金 | 311 | 311 |
| 資本剰余金 | 415 | 415 |
| 利益剰余金 | 2,230 | 2,416 |
| 自己株式 | △76 | △405 |
| その他の包括利益累計額 | △261 | 10 |
| その他有価証券評価差額金 | 64 | 111 |
| 為替換算調整勘定 | △326 | △81 |
| 退職給付に係る調整累計額 | — | △19 |
| 少数株主持分 | 252 | 332 |
| 純資産合計 | 2,870 | 3,080 |
| 負債・純資産合計 | 4,381 | 5,195 |

連結損益計算書

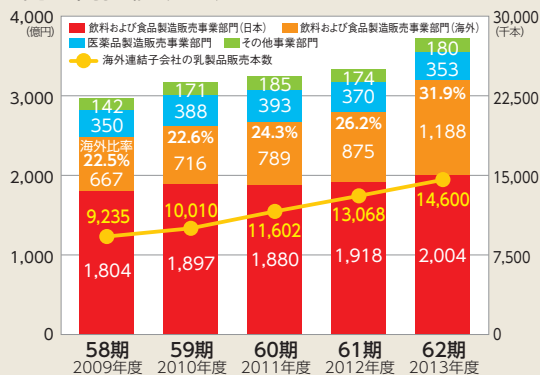
単位：億円

| 科目 | 第61期 | 第62期 |
|----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで | 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで |
| 売上高 | 3,191 | 3,503 |
| 売上原価 | 1,475 | 1,563 |
| 売上総利益 | 1,716 | 1,939 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,485 | 1,619 |
| 営業利益 | 230 | 320 |
| 営業外収益 | 78 | 96 |
| 受取利息 | 21 | 22 |
| 受取配当金 | 9 | 11 |
| 持分法による投資利益 | 21 | 28 |
| その他 | 26 | 33 |
| 営業外費用 | 14 | 21 |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 支払手数料 | 1 | 6 |
| その他 | 5 | 7 |
| 経常利益 | 294 | 395 |
| 特別利益 | 14 | 13 |
| 固定資産売却益 | 8 | 12 |
| 工場再編損失引当金戻入額 | 1 | — |
| その他 | 4 | 0 |
| 特別損失 | 29 | 14 |
| 固定資産売却損 | 1 | 1 |
| 固定資産除却損 | 7 | 7 |
| 減損損失 | 4 | 4 |
| 投資有価証券評価損 | 10 | 0 |
| その他 | 4 | 0 |
| 税金等調整前当期純利益 | 279 | 394 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 80 | 96 |
| 法人税等調整額 | 4 | 27 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 194 | 270 |
| 少数株主利益 | 30 | 45 |
| 当期純利益 | 163 | 225 |

平成26年3月期のポイント

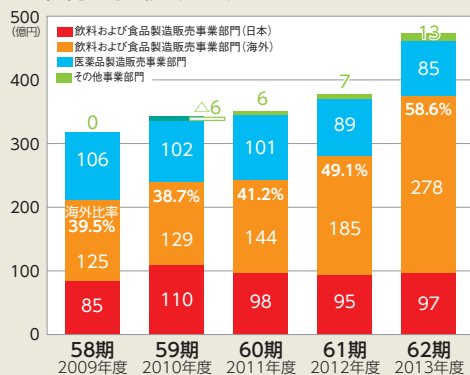
1. 全体の売上高・各段階利益ともに過去最高を更新し、増収・増益
2. 国内飲料は乳製品および海外向け生産機器売上の増加等により、増収・増益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の大幅増加および為替の円安効果等により増収・増益
4. 医薬品はエルプラットの販売数量減等により、減収・減益

▶ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

▶ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

| 科目 | 第61期 | 第62期 |
|---------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで | 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで |
| ① 営業活動によるキャッシュ・フロー | 428 | 485 |
| ② 投資活動によるキャッシュ・フロー | △435 | △499 |
| ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3 | 35 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 74 | 107 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 72 | 128 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 755 | 827 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 827 | 956 |

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益394億円、減価償却費200億円等により485億円(前期比56億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったことにより△499億円(前期比63億円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金および長期借入金が増加した一方で、自己株式の取得および配当金の支払いがあったこと等により35億円(前期比31億円の収入増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

世界で愛飲されるヤクルト

～ヤクルトの理念を世界に広げて50年～

ヤクルトの国際事業は、1964年、台湾での営業開始を皮切りに、今年で50年を迎えます。現在、海外での販売エリアは32の国と地域に拡大し、着実に愛飲者の輪を広げています。



◆ 1964年に台湾進出へ

ヤクルトが海外へとフィールドを広げたのは、1964年、台湾で営業を開始したのがはじまりでした。当時は、創始者である代田 稔の「世界中の人々の健康を守りたい」という考えのもと、ブラジル、香港、タイ、韓国、フィリピンなど、衛生環境が悪く予防医学が必要な地域から求められて進出した時代です。1991年以降は、オランダ、ベルギー、イギリス、アメリカなど欧米諸国にもネットワークを広げることで国際事業を本格的に展開し、ヤクルトのビジネスモデルを確立してまいりました。近年では中国での展開にも力を入れ、ヤクルト創業の理念を世界中で具現化しています。

◆ 海外進出50年

ヤクルトの乳製品は、現在、日本を含む世界33の国と地域で、毎日、3,000万人を超える方々にご愛飲いただいています。海外においても日本同様に、生産・販売の環境づくりと人材育成を現地に根差して行う「現地主義」を大切にしています。独自の販売システムであるヤクルトレディによる宅配も多くの国と地域で実施し、それぞれの国や地域に合わせた取り組みを展開することで着実に成長を続けてまいりました。

この50年間における1日当たりの乳製品販売数量を見ると、全世界ベースでは、1964年の海外進出以来、順調に売り上げを伸ばしています。

海外初進出

第一期(1964年～1990年)
求められての進出

衛生環境が悪く、予防医学が必要な発展途上国への進出

台湾、ブラジル、香港、タイ、韓国、フィリピン、シンガポール、メキシコ、ブルネイ

ヤクルトの理念を海外モデル化

第二期(1991年～2000年)
本格的国際事業の展開

先進国への進出

インドネシア、オーストラリア、オランダ、ベルギー、イギリス、ドイツ、アメリカ、フランス、ルクセンブルク、スペイン、ウルグアイ

ヤクルトの基本ビジネスモデルの確立

第三期(2001年～2010年)
「ヤクルト」を世界の共通語に

4地域9ブロックへの浸透

中国、オーストラリア、イタリア、マレーシア、ベトナム、インド、アイルランド、ニュージーランド、カナダ、ペリーズ

ビジネスモデルの拡大期

海外事業50年
第四期(2011年～2016年)
国際事業の集大成

世界三大人口大国のアメリカ・中国・インド経営基盤確立

マルタ、スイス

ビジネスモデルのステップアップ

◆ 安定的・持続的な事業成長へ

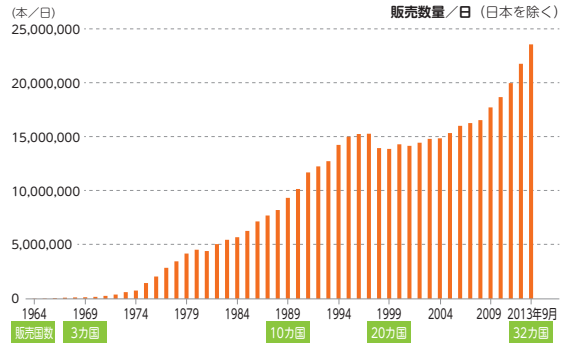
2013年に71億人を超えた世界の総人口に対し、ヤクルト進出国の総人口は41億人、販売対象人口は16億人を超えています。

今後の市場の拡大としては、世界71億人に対し、未進出国約30億人への拡大、進出国の総人口41億人に対し、販売対象にできていない25億人への拡大があり、成長余力を十分に秘めています。また、すでに進出し販売対象としている16億人の市場に対しても、より浸透率を高めていくことで、国際事業を安定的、持続的に育て上げ、最終的には世界中すべての方々にヤクルトをお届けできるよう目指してまいります。

◆ 販売増に対応する生産体制の強化

文化や食習慣は異なっても、「健康」は世界の人々に共通する願いです。近年の健康意識の高まりや、プロバイオティクスへの理解も進んでいることから、今後も販売が継続して伸長することが見込まれています。販売増に対応する商品供給体制を強化していくため、生産設備を順次増強しています。

● 世界の1日当たり乳製品販売数量の推移



News

2つの海外新工場で生産を開始!



インドネシア スラバヤ工場

インドネシアの第2工場となるスラバヤ工場、2014年1月20日から「ヤクルト」の生産を開始しました。



中国 広州第2工場

中国では、広東省に広州第2工場が完成し、2014年3月28日から「ヤクルト」の生産を開始しました。



Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む33の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日約3,000万人を超える方々にご愛飲いただいています。

【ヤクルトの売上本数】



海外：2013年1月～12月の1日当たり平均本数
日本：2013年4月～2014年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

- ▶国と地域：12
▶1日当たりの販売本数：63万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

- ▶国と地域：6
▶1日当たりの販売本数：550万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ベリーズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

- ▶1日当たりの販売本数：896万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

- ▶国と地域：14
▶1日当たりの販売本数：1,728万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニュージーランド
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国



Product Lineup

ヤクルト類（乳酸菌飲料）



▲New
ヤクルト



▲Newヤクルト
カロリー-half



▲ヤクルト
400



▲ヤクルト
400LT



▲ヤクルト
ゴールド



▲ヤクルト Ace



▲ヤクルト
フルーティ

その他の乳製品



◀ミルミル

生きて大腸にとどくビフィズス菌を、1本(100mlあたり)に100億個以上含んだ、飲むヨーグルトです。飲みやすいミルク風味に上げています。



◀ミルミルS

生きて大腸にとどくビフィズス菌を1本(100mlあたり)に100億個以上含んだ、飲むヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、鉄、葉酸、コラーゲンなどが摂取できます。すっきりとしたヨーグルト風味です。

▼ジョア (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、白ぶどう)
腸内で有用な働きをする乳酸菌 シロタ株が入った、飲むヨーグルトです。



◀BF-1

ストレス社会で生きる、現代人のために開発した、ビフィズス菌(B.ビフィダム Y株)を使用した、乳製品乳酸菌飲料です。

▶プレティオ▶

血圧降下作用を有するGABA(γ-アミノ酪酸)を1本に10mg以上含む、血圧が高めの方におすめの乳製品乳酸菌飲料です。



▼乳酸菌ソイα



ジョア▶
(食べるタイプ)
(アロエ、ブルーベリー)



▼ソファール (プレーン、ストロベリー、LT、元気ヨーグルト)



ジュース・清涼飲料

健康機能性食品



▶ 蕃爽麗茶
▶ 蕃爽麗茶
香ばし風味

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。



▲アヤムラサキ ▲爽涼健茶



▲タフマンシリーズ (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、タフマンDRY)



▼ 紫の
おいしいお酢

▼オリゴ糖入り ▼爽やか梅
梅ドリンク



▼ぎゅっと健康シリーズ
(カシス、グルコサミン、コエンザイムQ10、紫蘇)



(期間限定)

▼ CHOBI (チョビ)



▲レモリア

テアニン(緑茶の旨味成分)を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。

▲黒酢ドリンク

純米熟成黒酢とうめ果汁を組み合わせ、ガラクトオリゴ糖を1個当たり2.5g含んだ特定保健用食品のビネガードリンクです。

▼ヤクルトの乳性飲料ミルージュシリーズ

(Ca125、200、280、ミルージュ、ホワイトミルージュ、フルーツミルージュトロピカルミックス、ホワイトミルージュソーダ)



▼ラックミーシリーズ
(調製豆乳、コーヒー、バナナ)

▼調製豆乳
国産大豆使用



Product Lineup

ジュース・清涼飲料

ソフト飲料



▲お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲マイルドシリーズ
(カフェ・オ・レ、いちご・オ・レ、
抹茶・オ・レ)



▲ココア
(季節限定)



▲コーン
ポタージュ
(季節限定)

▼きになる野菜シリーズ (緑黄色野菜ミックス、紫野菜ミックス、
手軽に野菜1日分、パインキャロット、ホワイトグレープキャベツ)



▼野菜ジュース
野菜ジュース(食塩無添加)



▼トマトジュース
(期間限定)



完熟王林▶
(期間限定)
◀(左から)
みかん・オレンジ
ジュース
アップルジュース
パイナップルジュース
グレープフルーツ
ジュース



▲ホットゆず&
日向夏
(季節限定)



▲さっぱりシリーズ
(りんご、ピーチ)



▲ミネラル
チャージ

健康食品



▲毎日うれしい
ケールの青汁



▲ごくごく飲める
大麦若葉

▼ローヤルゼリー



▲マイタイム

▼サプリズムシリーズ (コラーゲン、PS、フコイダン、ブルーベリー&ルテイン、グルコサミン、マルチビタミン&ミネラル)



めん類

▼麺許皆伝シリーズ
(しょうゆ味、みそ味、しお味、ソース焼そば)



▼神埼めんシリーズ
(そうめん、ひやむぎ、
中めん、うどん、そば)



▼手延そうめん



▼乾麺物語シリーズ
(らーめん、とんこつしょうゆ味、
うどん、カレーうどん、汁なし担々麺)



Product Lineup

医薬品

医療用医薬品



その他

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬S錠



▲ヤクルトBL 整腸薬



▲アロエ便秘薬



▲アいのチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシィホワイト



▲リベシィ



◀ゴールド
S.E.ローション



▶ラクトデュウ
S.E.ローション



▼ラクトデュウ
S.E.ヒアルロン
ジェル



▼ヤクルト
ビューティエンス
プリリアント
~ザ クリーム~



◀エジテックス
モイストリペア
エッセンス



▶パラビオ
ACクリーム
サイ



◀ビスイクル
リフトリペア
エッセンス

メイクアップ



◀パラビオ

▼グランティア EX



ボディケア

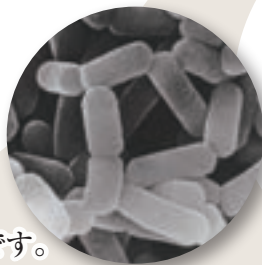
POSHMAMA
シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)さらさらサンスクリーン®



乳酸菌研究から生まれた ヤクルトの化粧品

ヤクルトは創業以来、乳酸菌を含めた微生物の可能性を、人と地球の健康に役立てるために、幅広い分野で研究・開発を進めてきました。そのひとつがヤクルトの化粧品事業・ヤクルトビューティエンスです。



「ヤクルトビューティエンス」 名前の由来

Beautiensは、「Beauty (美) +ens (本質)」からの造語で、本質的な美しさ、素肌美を追求していくヤクルトの化粧品事業の基本姿勢をあらわしています。

乳酸菌のチカラを、素肌のチカラに

なぜ、ヤクルトが化粧品の開発を始めたのか。それは創始者である代田 稔が、皮膚や粘膜を保護する乳酸菌のはたらきに着目したことに始まります。「体に良い乳酸菌は肌にも良い」という発想をもとに研究を重ね、1955年にはスキンケアのための乳酸菌培養液 ①「**乳酸菌はっ酵エキス(ミルク)**」が誕生しました。この「**乳酸菌はっ酵エキス(ミルク)**」は、ヤクルトビューティエンスの代表的な成分であり、すべての基礎化粧品に配合されています。

その後も、ビフィズス菌研究から生まれた ②「**ビフィズス菌はっ酵エキス(大豆)**」や、乳酸菌由来の ③「**高分子ヒアルロン酸**」などオリジナル成分を開発するとともに、乳酸菌と皮膚科学の探究をたゆまず続けています。



お客さま個々の状況にあわせた、
対面によるカウンセリングを重視しています

厳しい安全基準のもとで製造

乳酸菌飲料同様、厳しい安全基準で作りだした化粧品をお届けするため、自社で研究開発を行った化粧品を、自社工場で製造していることも大きな特長です。食品工場と同等の品質管理基準を設けた化粧品工場で、安全性や品質にこだわって製品づくりを行っています。

内外美容・健腸美肌の提唱

乳酸菌飲料でからだの内側・おなかの調子をととのえ、化粧品でからだの外側・お肌のすこやかさをまもる。それが、ヤクルトビューティエンスが提唱し続ける想いです。

「乳酸菌のチカラですこやかに」というヤクルト独自の代田イズムは、このようにヤクルトの化粧品にも受け継がれています。これからも「お肌・からだ・こころ」のすべての健康をまもり、乳酸菌のさらなるチカラを提案し続けていきます。

工場見学を行っています

湘南化粧品工場では工場見学を行っています。生産ラインの見学や肌測定等、盛りだくさんの内容で、乳酸菌研究から生まれた成分配合の化粧品を体感できます。



乳酸菌研究から生まれた主な保湿成分

- 1 **「乳酸菌はっ酵エキス（ミルク）」**
ミルクを乳酸菌で発酵させて得られる保湿成分です。お肌本来のうるおい成分である天然保湿因子とよく似ているので、お肌によくなじみます。
- 2 **「ビフィズス菌はっ酵エキス（大豆）」**
良質な大豆（豆乳）をビフィズス菌で発酵させ、イソフラボンを活性型にしたオリジナル保湿成分です。ハリのあるみずみずしい素肌に導きます。
- 3 **「高分子ヒアルロン酸」**
乳酸菌から作りだした水分保持力の高いヒアルロン酸で、みずみずしいお肌をたもちます。



ヤクルト中央研究所を中心に、乳酸菌研究を基盤とした安全安心な化粧品づくりに取り組んでいます

人も地球も健康に

Yakult 株式会社ヤクルト本社 化粧品部

0120-8960-81

〒104-0061 東京都中央区銀座6-18-2

受付時間 9:00~17:30

(土・日・祝日・年末年始除く)

ヤクルトの化粧品

検索

<http://www.yakult.co.jp/cosme>

Information

会社概要

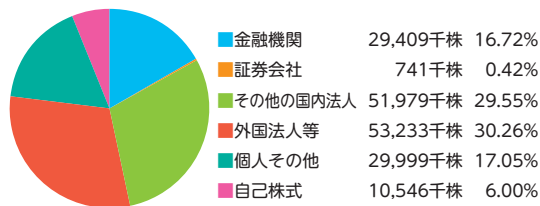
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,996人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者310人および嘱託162人を含んでいます。

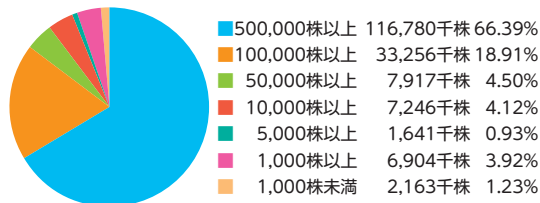
株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株
発行済株式総数…………… 175,910,218株
株主数…………… 19,630名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成26年6月25日現在)

| | | | | | |
|---------|----------|-----|----------|-------|--------|
| 代表取締役会長 | 堀 澄也 | 取締役 | 安田 隆二 | 常勤監査役 | 阿部 晃範 |
| 代表取締役社長 | 根岸 孝成 | 取締役 | 福岡 政行 | 常勤監査役 | 山上 博資 |
| 取締役 | 川端 美博 | 取締役 | クリスチャンノイ | 監査役 | 奥平 哲彦 |
| 取締役 | 根岸 正広 | 取締役 | ペトラポオスレイ | 監査役 | 角屋 良平 |
| 取締役 | 成田 裕 | 取締役 | 大関 康男 | 監査役 | 谷川 清十郎 |
| 取締役 | 椎野 健一 | 取締役 | 山本 公総 | 監査役 | 小林 節子 |
| 取締役 | 伊藤 正徳 | 取締役 | 松園 直史 | 監査役 | 吉田 宏一 |
| 取締役 | リチャードホール | | | | |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニオン プロバイオティクス プライベートリミテッド | 35,212 | 20.02 |
| 株式会社フジ・メディア・ホールディングス | 6,492 | 3.69 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 | 4,957 | 2.82 |
| 松尚株式会社 | 4,917 | 2.80 |
| 共進会 | 4,453 | 2.53 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,667 | 1.52 |
| キリンビバレッジ株式会社 | 2,458 | 1.40 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,199 | 1.25 |
| 株式会社みずほ銀行 | 2,186 | 1.24 |
| 中村輝夫 | 2,031 | 1.15 |

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。
上表のほか、当社は自己株式10,546千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境・社会活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を1品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を2品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

株主総会 定時株主総会 毎年6月中
臨時株主総会 必要に応じ随時

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <http://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
事務取扱場所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階)
(郵便物送付先) 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(連絡先) 東京証券代行株式会社 事務センター
☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて 株券電子化にともない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960 (大代表) <http://www.yakult.co.jp/>